

最優秀賞

# 刻を愉しむ家

2010年度

— 第3回 —

## あおもり産 木造住宅 コンテスト 作品集

ヒバに囲まれた家

優秀賞

本当の  
木の家に  
暮らしたい

優秀賞

あおもり産木造住宅コンテスト  
実行委員会

2010年度  
第3回  
あおり産  
木造住宅  
コンテスト

最優秀  
作品

刻を愉しむ家

稲見建築設計事務所



4P



2010年度  
第3回  
あおり産  
木造住宅  
コンテスト  
優秀  
作品

6P

本当の木の家に暮らしたい  
企業組合県木住



2010年度  
第3回  
あおり産  
木造住宅  
コンテスト  
優秀  
作品

8P

ヒバに囲まれた家  
日野建ホーム株式会社



2010年度  
第3回  
あおり産  
木造住宅  
コンテスト  
特別賞

10P

幸せを呼ぶ木の贈り物、  
青森の自然と暮らす、肌で感じる木の感触  
有限会社岩木建設



2010年度  
第3回  
あおり産  
木造住宅  
コンテスト  
作品

12P

桜を見る家  
有限会社桜庭工務店



2010年度  
第3回  
あおり産  
木造住宅  
コンテスト  
作品

12P

手づくり感あふれる家に  
企業組合県木住



2010年度  
第3回  
あおり産  
木造住宅  
コンテスト  
作品

13P

木の香りと静かな暮らし  
企業組合県木住



2010年度  
第3回  
あおり産  
木造住宅  
コンテスト  
作品

13P

青い森の家  
株式会社木組工務店



2010年度  
第3回  
あおり産  
木造住宅  
コンテスト  
作品

14P

育つ家  
株式会社大山建工



2010年度  
第3回  
あおり産  
木造住宅  
コンテスト  
作品

14P

ひだまりの家  
建築組ボックス有限公司



15P

第1回 入賞作品



15P

第2回 入賞作品

あおもり産木造住宅コンテスト  
実行委員会 会長  
青森県木材利用推進協議会 会長

## 駒井 修一

# 刊行のことば

あおもり産木造住宅コンテストは、県産材の地産地消の推進を図り、県民の皆様にも、青森県産材を使用した住宅の特徴や、それを造りあげる大工職人の高い技術を広く知っていただくために、平成20年から開催しており、今回で3回目となります。

県が行いましたアンケート調査によりまずと、県産材を使った木造住宅について、ほとんどの方が「健康に良さそう」、「住みやすそう」、「ぬくもりを感じる」などのイメージを持っており、また、住宅を新築、増改築する際には、9割近くの方が、「県産材を使用したい」と回答し、県産材住宅に対して多くの期待を寄せています。

県産材を住宅建築に有効に活用すること

とは、林業・木材産業の振興はもとより、木材を生産する森林整備が進み、地球温暖化防止にも貢献することにつながります。

この作品集をご覧になった皆様には、青森県のみどり豊かな森林や自然環境を未来に向けて、守り、育て、伝えていくために、「私たちができること」を、あらためてお考えいただければ幸いに思います。

今回、応募して下さった作品の施工、設計事務所、工務店をはじめ、イベントでの一般投票に参加して下さった皆様、御指導・御協力いただいた関係各位に対し深甚なる敬意と謝意を表す次第であります。

## 【審査全般について】

審査委員会では、提出された書類や写真をもとに、間取りなどの設計及び内装・外観の印象などの「敷地全体を通じた住宅の周辺環境や景観への木づかい（配慮）」、「住宅内部の安全、健康、快適な生活への木づかい（配慮）」、「県産材を積極的に活かす工夫や技術」、「地域の気候風土、地球環境への配慮や貢献」、「あおもり産木造住宅としてのスタンダードモデル性」の5項目について審査いたしました。また、イベントを通して一般の方が「住んでみたい」と思う住宅への投票を行い、それぞれの結果と合わせ、1次審査といたしました。上位となった数点の作品について、実際の建物を見ながら行う2次審査により、「設計趣旨と現地の状況」、「外観の印象」、「内観の印象」の3項目の評価を行い、1次審査の結果と合計して、最終的な審査といたしました。

特に、今回のコンテストでは、県産材住宅を一般的なものにしていくために、審査項目の「あおもり産木造住宅としてのスタンダードモデル性」に重点を置き審査いたしました。

今回、応募された12作品は、どれも県産材の魅力を存分に引き出したすばらしい作品で、設計からは住まい手を感じる気持ちが取られ、施工からは木の良さを活かす高い技術が見られました。

また、地域の気候・風土への配慮では、厳しい青森の冬を快適に過ごせるよう、床材に無垢の厚板を採用し、県産材の持つぬくもりやあたたかさを肌で感じられるように配慮された作品や、子育て中の若い夫婦向けの住宅に県産材を積極的に活用した作品が多くありました。

あおもり産木造住宅コンテスト 審査委員長  
社団法人青森県建築士会 会長

## 講評 川島 芳正

【最優秀賞】 稲見建築設計事務所  
「刻を愉しむ家」

この作品は、構造材はもとより、内装材、建具、構造用合板にいたるまで、木材は全て県産材を使用し、さらに、CASBEE(※)戸建てSランクの性能を有するなど、省エネや環境への配慮を積極的に行っております。

県産材をふんだんに使用してながらも、内部・外部ともに、モダンかつ機能的なデザインとなっており、これからの「あおもり産木造住宅」のスタンダードとなる作品であり、高く評価し、最優秀賞に選ばれました。

※CASBEE(キャスビー)：建築物の環境性能を総合的に評価するシステム

【優秀賞】 企業組合県木住  
「木当の木の家に暮らしたい」

この作品は、スギを中心とした県産材を適材適所で積極的に使用し、コンパクトながらも、施主の生活を考慮したプランとなっており、さらに暖房に薪ストーブを採用するなど、住宅建設のみならず、今後の生活においても県産材の地産地消を意識した作品であることを評価し、優秀賞に選ばれました。

【優秀賞】 日野建ホーム株式会社  
「ヒバに囲まれた家」

シンプルに仕上げられた外観とは対照的に、内部はヒバを中心とした県産材がふんだんに使用されており、機能的で過ごしやすいデザインと天然素材を好む若い世代向けの作品であることを評価し、優秀賞に選ばれました。

【特別賞】 有限会社岩木建設

コンテストの趣旨に沿った、県産材を使用した標準的な住宅の建築を行い、住宅への県産材の利用を広く普及・実践していることを評価し、特別賞といたしました。

# 刻を愉しむ家

オーナーは森林インストラクターでもあり、仕事柄県産材に接することも多く、家を建てるなら県産材でという強い思いが強い方でした。さらに、環境問題なども意識されているので、ライフサイクルCO<sub>2</sub>を考えた県産材と省エネ住宅を建てることにしました。

県産材は全部で10種類近い樹種を使用しました。土台をヒバ、柱をスギ、梁をアカマツに、階段にタモ、カウンター材にサクラ、手摺にセン、玄関框にクリ、床材にはスギ、ヒバ、アカマツと3樹種、建具はスギ、構造用合板も県産材のスギで作りました。

さらに、玄関の羽目板は6樹種を使って造り、その中のニツチにはヒバを津軽塗りで仕上げたカウンター材を採用するなど、多くの県産材の経年変化の違いを楽しめます。

また、県産材を100%使うことで、木材の輸送マイレージを減らしライフサイクルCO<sub>2</sub>削減に大きく貢献しました。

県産材以外にも県産品にこだわり、津軽塗、ブナコ、金山焼などを照明やコンセントカバー、カウンター、インテリアなどに取り入れました。

省エネ計画は、内外W断熱にし、空冷ヒートポンプを採用しています。今後、新たな熱源が開発された場合には、時代にあった熱源への交換が可能となるよう機械室を設けています。

パネルヒーターを使った輻射式冷暖房で、次世代省エネルギー基準住宅のCO<sub>2</sub>排出量の30%カットに成功しました。

外灯照明にはLEDを採用、屋根には太陽光発電を載せ、手漉紙や左官も一部内装材に採用し、CASBEE戸建てSランク性能の住宅にしました。

県産材の心地よい肌触りと、輻射式冷暖房の柔らかな室内気候が、やさしい住空間を生み出し、建物の経年変化を楽しみながら家族が成長していくECO住宅となるようにしました。

※ライフサイクルCO<sub>2</sub> (LCCO<sub>2</sub>)

建物を建てはじめるときから住人が住んでいる期間、解体にいたるまでの間でその建物がどれだけの二酸化炭素を排出するかを示す指標

※CASBEE (キャスビー)  
建築物の環境性能を総合的に評価するシステム

和室手前には輻射式冷暖房のパネル



階段は鉄骨とタモ材の融合



書斎としても使用できるフリースペース



家具や建具も県産スギで



印象的な朱色の壁には津軽塗のコンセントカバーをあわせた



ご主人が仕上げた漆喰の壁



お施主様が補修できる範囲にスギ板を使用



山桜であつらえたキッチンカウンター

- 所在地: 青森市
- 県産材使用量: 37㎡
- 県産材使用率: 100%

- 設計者(応募者): 稲見建築設計事務所  
住所: 〒030-0946 青森市佃 1-5-7  
TEL: 017-742-2636 FAX: 017-742-2637
- 施工者: オオテラ工務店  
住所: 黒石市大字浅瀬石字滝ノ口 150-8  
TEL: 0172-53-6266
- 木材調達先: 青森県森林組合連合会  
TEL: 017-723-2657

# 本当の木の家に 暮らしたい

床は県産スギ、壁には和紙を使用

木の家はたくさんありますが青森県で育った木を使った本当の木の家に住みたいと問い合わせを頂きました。静かな住宅地を購入。隣家が近かったこと、暖をとるための薪を置くスペースを確保するため、無落雪屋根としました。そのため軒が出ていないので、窓上に庇（ひさし）を付けることにより、雨の吹き込みを防いでいます。

全体的に建物の高さを抑えてコストの削減を図り、その分、1階の天井高さを確保するため、構造材の梁を出し、また部屋を広く見せるために、その梁の配置にも気を配りました。

外壁の保護塗料と室内の床塗装は、コスト削減と今後のお手入れのために、お客様ご自身が塗りましたが、一枚一枚塗り上げたので、愛着がひとしおのようです。そのほか、室内全ての床材の材料・厚さ・幅を統一し、コスト削減と施工の安定性を図りました。

使用した木材は、全て青森県

内で伐採・製材された地場産を採用し、木材の地産地消を実践しています。

構造材は、土台にヒバ、柱にスギ、梁にアカマツと県産材を適材適所で使用し、床材には、夏はべとつかず、冬は柔らかで暖かな足触りのスギの42mm厚板を採用しています。また、室内戸は既製品を使わずに、建具屋さんの技術を活かしたスギ無垢戸としました。

リビングにある薪ストーブ一台で家全体を暖めるため、リビング階段とし、あたたかな空気を2階に届くようにしています。また、燃料の薪は青森県内から調達しているので、青森県内でのカーボンニュートラルを実践しています。

部屋と収納に余裕のある家もいいですが、モノがあふれる生活は避けたいと考え、27坪というコンパクトながらも最低限の収納は設け、部屋に置く家具をなるべく少なくし、スッキリとした生活を目指した住宅です。

# 企業組合県木住



屋根裏空間を利用してロフトを設置



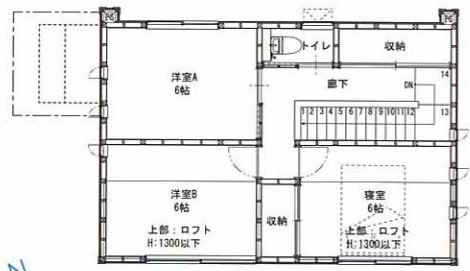
2階へ暖かい空気をおくするためのスリット



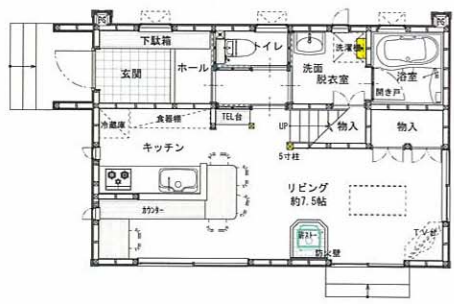
家全体を暖める薪ストーブ



建具にも県産材を使用



2階平面図 1/100



1階平面図 1/100



外壁は県産スギ下見板貼り

- 所在地：青森市
- 県産材使用量：31㎡
- 県産材使用率：100%
- 設計・施工者(応募者)：企業組合県木住  
住所：〒030-0813 青森市松原 1丁目 16-25  
TEL：017-732-5333 FAX：017-732-5777
- 木材調達先：青森県森林組合連合会  
TEL：017-723-2657

# ヒバに囲まれた家

床、壁、天井とも青森ヒバで仕上げられたリビング

夫婦と子供の為のヒバに囲まれた暖かみのある家です。木の内装、手刻みの構造体、職人技を活かした造作、さらにシンプルでかわいらしく、機能的で過ごしやすい家というテーマで設計し、お客様の様々な要望を取り入れ、結果として土・石・柱にヒバ、梁等の横架材にアカマツ、内装の床・壁・天井・建具にヒバなど、県産材がふんだんに使用された住宅となりました。

周囲は庭の緑が多く、西側の眺めがよい敷地です。外壁は緑が映える白い塗り壁にして周辺環境との調和に配慮しています。家に一步踏み入れれば、ふんだんに使用されたヒバの香り、無垢の木のぬくもりがあなたかく迎えてくれます。リビングの天井を上げ、アカマツの梁をあらし、構造材を意匠として見せる等の工夫をしました。ヒバは抗菌性・殺菌性が高いので、収納・押し入れのカビ等の発生を防ぎ、耐水性にも優れることから、洗面所など水廻りの床にも使用しています。洗面所には壁にしつこい塗りを塗り、調湿効果をさらに高めました。県産と地場の職人の手造りにこだわり、構造材の加工は人工による手刻み、家具や建具も職人が無垢材を使用して加工しました。

空間的には家族がいつでもお互いを感じられるように、吹き抜けを設けました。風が抜けるように窓の配置を工夫し、夏は涼しく過ごせるように、また、高い断熱・気密性能(Q値1.47、C値0.43)や換気を適切に行うシステム、電気による低温水パネル暖房を導入し、冬も快適に過ごせるようにしました。





子供の気配が感じられるリビングの吹き抜け



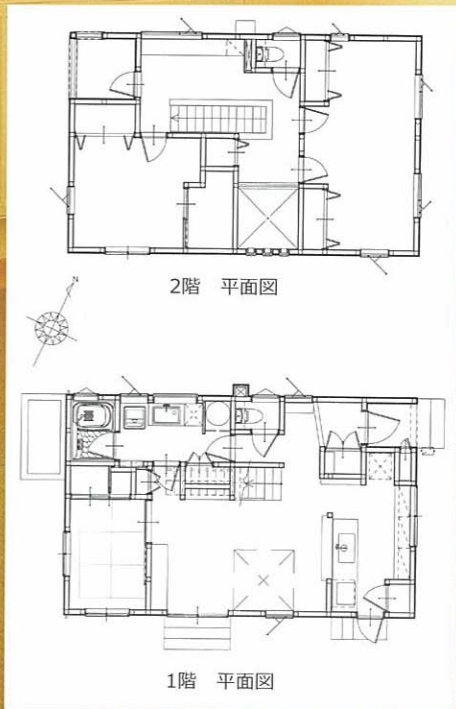
窓から景色を眺めながらくつろげる2階ホール



キッチン収納もヒバで職人が手作り



モザイクタイルで仕上げた洗面台



和室の建具も地場職人が製作



シンプルでかわいらしい雰囲気を持つ外観



ダイニングのペンダントライトはブナコ

- 所在地: 青森市
- 県産材使用量: 17㎡
- 県産材使用率: 77%

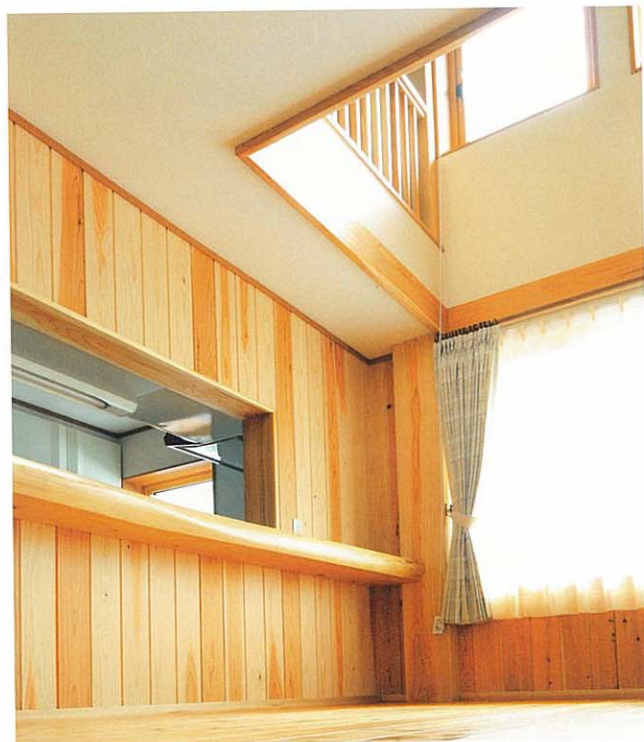
- 設計・施工者(応募者): 日野建ホーム株式会社
- 住所: 〒038-0012 青森市柳川 1丁目 2-62
- TEL: 017-723-6161 FAX: 017-723-6166

- 木材調達先: 株式会社石郷岡
- TEL: 0172-35-2100
- 工藤林業株式会社
- TEL: 0175-42-5227

# 有限会社 岩木建設



## 幸せをよぶ木の贈り物



台所のカウンター材は青森ヒバの厚板

お施主様は、地域の風土に合った「自然な木の家」に住むことを望んでおられました。当社の木こり体験に参加して、お施主様が自分の手で伐り倒した丸太は、太く長い大黒柱として家を支え続けます。

床には、自社加工した17mm厚のカラマツを使用し、トイレにもヒバの端材を大工自らが加工した羽目板を用いました。

また、構造的には、太い柱・多くの木の組み方で、耐震・耐久性にも配慮しています。

外回りでは、深い下屋と軒が特徴となっており、ガーデニング作業など、いろいろな楽しみ方ができます。

木が持つ、「梅雨時の調湿効果」、「冬

の保温力」、素足に感じる「心地よい肌触り」、そして、木の特色を存分に発揮させるための木の組み合わせなど「大工職人ならではの心配り」の効果を実感できる造りとなっています。

地域の豊富な木材資源や自然素材を積極的に取り入れた、安心・安全な住まいづくりを目指しています。



大工の技術により、帽子をかぶせた階段の親丸柱

積雪地なので単純な屋根に

■所在地：七戸町 ■県産材使用量：24m<sup>3</sup> ■県産材使用率：62%

■施工者(応募者)：有限会社岩木建設  
住所：〒034-0107 十和田市大字洞内字井戸頭 175-1 TEL: 0176-27-2906 FAX: 0176-27-3259  
■設計者：設計工房プランズ 上北郡七戸町字七戸 271-4 TEL: 0176-62-4013  
■木材調達先：株式会社わかもと TEL: 0176-28-2244



# 青森の自然と暮す



1尺のスギ太材を用いたのほり梁

お施主様は、40年程前から「南面から田んぼが見える小高い土地に家を建てたい」と望んでおり、さらに、自然志向から「体に良い木の家に住みたい」と考えておられました。（この家に住んでから、咳がみちがたった奥様も穏やかに過ごされているとのことです。）  
豊かな森林を育む山々の水を蓄える機能を果たし、自然との調和を保ちたいとの想いから、住宅の屋根の雨水を大地に浸透させるようにしました。  
外観は、伝統的な塗り壁と表しにした青森ヒバやスギ、カラマツなどの県産材で仕上げました。屋根には、瓦一体型の太陽光発電を取り付け、地球温暖化防止にも配慮した住宅となっています。

構造材には、スギの大梁のほか、土台は青森ヒバ、柱は青森スギと県産材をふんだんに使用しています。  
内装は、床板に厚さ30mmのスギ材、壁には珪藻土、天井にもスギ板と、全て自然素材で仕上げ、職人の技を活かした造りとなっています。



玄関の上場は、巾は1.3尺、厚さ2寸のスギ

屋根には瓦一体型の太陽光発電、外装は塗り壁と青森ヒバ

■所在地: 十和田市 ■県産材使用量: 29㎡ ■県産材使用率: 59%

■施工者(応募者): 有限会社岩木建設  
住所: 〒034-0107 十和田市大字桐内字井戸頭 175-1 TEL: 0176-27-2906 FAX: 0176-27-3259  
■設計者: 設計工房プランズ 上北郡七戸町字七戸 271-4 TEL: 0176-62-4013  
■木材調達先: 株式会社わかもと TEL: 0176-28-2244



# 肌で感じる木の感触



台所の柱は旧家のケヤキ柱を再生

お施主様は、「木の家に住みたい」と思っていたそうです。剣道を習っている息子さんが弊社のモデルハウスを見にいらした時に、素足に感じる木の感触を気に入ってくれました。  
下屋造りは、多目的に活用でき、外壁を守ってくれるため家を長持ちさせることが出来ます。

構造材は、土台に青森ヒバ、柱にスギ、梁にアカマツとスギを採用し、豊富な県産材を有効に活用しています。長く太い県産材をはじめとする木材をふんだんに組み込んで家を造ることに、耐寒性や耐久性がより増しています。  
内装材は、床、腰板には県産のスギを使用しています。また、トイレには

野地板として使用する青森ヒバの中から良材を選び、自社加工した羽目板を使用しており、ヒバの良い香りがいっぱいにひろがります。台所の柱には、旧宅を長年支えてきたケヤキの柱を再生して利用しました。  
いろいろな県産材を組み合わせられるのは、大工の「匠の技」があるからこそ実現できることです。



床には県産スギを使用

多目的に活用できる下屋

■所在地: 七戸町 ■県産材使用量: 30㎡ ■県産材使用率: 75%

■施工者(応募者): 有限会社岩木建設  
住所: 〒034-0107 十和田市大字桐内字井戸頭 175-1 TEL: 0176-27-2906 FAX: 0176-27-3259  
■設計者: 設計工房プランズ 上北郡七戸町字七戸 271-4 TEL: 0176-62-4013  
■木材調達先: 株式会社わかもと TEL: 0176-28-2244



# 桜を見る家



階段吹き抜けにはスギ板を使用

桜の花が散った春、両親が住む家を建てたいと、ご依頼をいただき、現場に行く、まず目にとまったのはとても立派な桜の木でした。「春になると桜が咲いてとてもきれいなんですよ。でも邪魔になるようでしたら撤去してもいいですよ・・・。」と、お施主様でも、この場所と桜の木を見た瞬間に決めていました。「桜を残そう！桜の花を眺めながら、ゆったりと生活していただく」と・・・。

外壁には、ガルバリウム鋼板を主に使用していますが、一部にアクセントとしてスギ板を縦張りに使用しています。内部では、柱や梁をあらわしにし、階段の壁はスギの羽目板で仕上げています。また、敷地内の桜を剪定した際に発生した枝を有効活用したポストや地元のナラ材で作った玄関脇のベンチもこの家のポイントとなっています。地元の職人の手仕事にこだわり、トイレの洗い器も津軽焼の陶芸家による物です。青森で育った杉の木を使い、棟梁のもと、既成の物ではない、各分野の職人技の手仕事による、住環境にも優れた地産地消・地元還元を基に創り上げた住宅です。



タモを使用したトイレ手洗いのカウンター

東側からの眺め、南側には桜が

■所在地: 弘前市 ■県産材使用量: 11㎡ ■県産材使用率: 70%

■設計・施工者(応募者): 有限会社桜庭工務店  
住所: 〒036-8094 弘前市外崎 4-2-6 TEL: 0172-27-4320 FAX: 0172-27-4325  
■木材調達先: 有限会社佐藤製材 TEL: 0172-87-2433



# 手づくり感にあふれる家に



リビングにある大黒柱は施主様自ら伐採

施主様は、自然に近い場所を求めて、周りが畑に囲まれたこの高台を購入されました。夫婦共働きのため、寝室がある2階に洗面所と浴室を配置し、朝の動線、帰宅後の動線、洗濯の動線を短くなるようにしています。業者へ任せきりの家づくりではなく、自ら参加して初めて家づくりと言える・・・そんな思いから、まずは家の大黒柱となる杉の木を、主人が伐り倒しました。そんな父親の雄姿をまだ小さな息子さんがしっかりと見守っていました。仕上げでは、一つとして同じ模様のない壁の漆喰塗りや外壁の塗装、スギのぬくもりを感じ、一年を通して裸足で過ごす床板への浸透性自然塗料の塗装など、ご家族みんなで参



フリースペースのハシゴは体育館の「ろくぼく」をイメージ

加していただきました。土台にはヒバ、柱にはスギ、梁にはアカマツを使い、さらに内装材、下地材、建具に使用する木材まで、全てを青森県産材でつくり上げました。家づくりの楽しさと大変さの証拠がたくさん詰まっている邸宅です。

県産スギを使用した外壁

■所在地: 青森市 ■県産材使用量: 37㎡ ■県産材使用率: 100%

■設計・施工者(応募者): 企業組合県木住  
住所: 〒030-0813 青森市松原 1丁目 16-25 TEL: 017-732-5333 FAX: 017-732-5777  
■木材調達先: 青森県森林組合連合会 TEL: 017-723-2657



# 木の香りとし 静かな暮らし



県産スギにお施主様が塗装した床

外観は付柱や梁、軒裏などにスギを使い、濃い茶色の浸透性の自然塗料をぬり、落ちついた和のイメージとしました。土台には青森のヒバを敷き、柱にはスギ、梁にはアカマツと全てに青森県で育った木を構造材として使いました。床には、夏はべとつかず、冬はあたたかなスギの厚板を使い、一年中裸足でくつろげるようにしています。杉の板で覆われたリビングからは、家の前の遊歩道にある大きな木々たちの季節の移ろいを眺めることができ、天気の良い日には、ウッドデッキへ出て、人目を気にせず読書やティータイムを楽しむことができます。



ヒバの香りあふれる浴室

を見ながらくつろぎ、その暖かさは、階段を通って2階をも温めるように設計しています。  
2階に配置した浴室からは、リビング同様に借景を気兼ねなく楽しめるので、ヒバの香りに包まれながらゆったりとお湯につかってリラククスすることができます。



季節の移ろいを眺められるウッドデッキ

■所在地: 青森市 ■県産材使用量: 37㎡ ■県産材使用率: 100%

■設計・施工者(応募者): 企業組合県木住  
住所: 〒030-0813 青森市松原1丁目16-25 TEL: 017-732-5333 FAX: 017-732-5777  
■木材調達先: 青森県森林組合連合会 TEL: 017-723-2657

# 青い森の家



珪藻土の壁とあらわにした梁で空間をデザイン

十和田湖スギを使用した外装材は、自然に溶け込みやすく温かみのある外観にしてくれます。  
構造材の土台・柱には青森ヒバを使用し、さらに炭でできた防腐・防蟻材を使用することで耐久性を高めています。  
表しの梁材と丸太材には、カラマツを使用し、構造体自体を空間のデザインとしています。軒を深くしながらも大きいサッシを設けることで、開放的な空間設計と程よい明るさの採光計画を実現しました。

浴室には、青森ヒバの浴槽と羽目板を使用し、十和田石を床に使用しています。一番眺望の良い位置に配置することで、景色を楽しみながら青森ヒバの香りでおくつろげる時間を創出しました。  
内装には、貼板と調湿効果の高い珪藻土を使用し、室内の快適性を向上させました。  
暖房には新ストーブを設置し、バイオマスエネルギーの活用をしています。地球環境にもやさしく、住む人の健康と建物の健康を両立させ、住まわれる方が愛着を持てる「暮らし造りの住宅」としました。



大きな窓で露天風呂感覚を楽しめる

外装材には十和田湖スギを使用

■所在地: 五戸町 ■県産材使用量: 40㎡ ■県産材使用率: 79%

■施工者(応募者): 株式会社木組工務店  
住所: 〒033-0042 三沢市栄町3丁目140-832 TEL: 0176-57-4547 FAX: 0176-57-4548  
■設計者: SOW設計工房一級建築士事務所 三沢市東町4-4-3 TEL: 0176-53-9146  
■木材調達先: 株式会社丸勝木材 TEL: 0178-43-4007



# 育つ家



眺めの良いダイニングは家族が自然と集う場に

「夫婦と子供二人、それに奥様のご両親の同居が予定された家だ。和風建築で県産の木で家を建てたいと希望されていた。「使えるならば使って欲しい」と奥様の御実家の杉も伐らせて頂いた。天然乾燥させた90年の杉は独特の光沢を持って、家人を迎える。

施主、その親御さん、子供達。世代を繋ぐこの家は、施主が産まれる前からの祖先が植えた木が活きる家でもある。建築として後世に残るのであるならば、日本の建築の姿が自然だと思つた。木を活かす技術そのものも日本独自の大工技術。屈指の保有数を誇る材を使わない手はない。この魅力ある材料を構造や造作に用い、和室も杉で設える。青森産の杉、恥じるものではない。こ

の気候と風土が育てた木は、立派な材料となり家を支え、家人を育てる。ダイニングのブナの照明は施主があらえた物、椅子とテーブルも青森産のケヤキで地元職人が作ったものだ。

「各自が居心地の良い場所にしていく楽しみも期待して止みません」とは奥様の言葉。

家は今を語め込むのではなく、築き育てていくものであると気付かされる。



テレビは壁面の本棚の扉に隠される

ストップルーフと軒先ヒーターで雪対策をした切妻屋根

■所在地: 弘前市 ■県産材使用量: 49m<sup>3</sup> ■県産材使用率: 96%

■施工者(応募者): 株式会社大山建工  
住所: 〒039-1502 三戸郡五戸町大字切谷内字淋代 14-1 TEL: 0178-21-3055 FAX: 0178-21-3033  
■設計者: 株式会社大山建工一級建築士事務所 八戸市大字河原木字千刈田 7-1 TEL: 0178-21-3055  
■木材調達先: 有限会社山内製材所 TEL: 0178-56-2746



# ひだまりの家



大きな吹き抜けのある開放的なリビング

リビングへ入ると天井高6.5メートルの大きな吹き抜けが広がります。そこは、光が集まるひだまりの空間。真っ白な漆喰壁が青森県産スギとのコントラストを生み出し、その美しさを際立たせます。

外観は、外壁とベランダにはアクセントとしてスギを使用し、車庫にも五寸角のスギを用い、建物との一体感を持たせました。アールの屋根がモダンでありながら、木のやわらかな表情と相まって、目を引くデザインとなっています。

土台にはクリを使い、南部地方伝統の材木使いに倣い、地元の大工の手刻みにより、地方の風土に合った建物としました。

内装は、4寸角を用い丈夫で力強い雰囲気演出し、さらに木目の美しさを活かし、柱を見せる真壁構造とし、しつこいとのコントラストでより美しさを際立たせています。

手作りにこだわった建具やキッチンには県産スギ、階段には南部アカマツを使用しました。

職人の手作りとは対照的にオール電化のこの住宅は古いものと最新の技術の融合を実現した住まいです。



2階の廊下からはリビングを一望できる

アールが目を引きもどかすデザイン

■所在地: 八戸市 ■県産材使用量: 20m<sup>3</sup> ■県産材使用率: 100%

■設計・施工者(応募者): 建築組ボックス有限公司  
住所: 〒031-0813 八戸市大字新井田字石動木平 1-1 TEL: 0178-25-6020 FAX: 0178-25-5542  
■木材調達先: 有限会社夢ハウス TEL: 0178-60-1611



2008年度  
第1回  
**あおり産  
木造住宅  
コンテスト  
入賞作品**



最優秀賞 株式会社大山建工  
「木に住まう」



優秀賞 山本プランニング一級建築士事務所  
「菜園を楽しむ家」



優秀賞 中野由美子  
「『大草原の小さな家』みたいな家に住みたい」

2009年度  
第2回  
**あおり産  
木造住宅  
コンテスト  
入賞作品**



最優秀賞 株式会社大山建工  
「枝が支える木の住まい」



優秀賞 青森スギで家を作る中南地域会  
「城下町の家」



特別賞 企業組合県木住  
「夫婦で楽に暮らしたい」



#### 応募用紙提出先

- **青森県農林水産部林政課林産振興グループ**  
〒030-0801 青森市長島一丁目1番1号  
TEL:017-734-9517 FAX:017-734-8145
- **東青地域県民局 地域農林水産部林業振興課**  
〒030-0801 青森市新町二丁目4-30  
TEL:017-734-9962 FAX:017-734-8305
- **中南地域県民局 地域農林水産部林業振興課**  
〒036-8345 弘前市大字蔵主町4  
TEL:0172-33-3857 FAX:0172-32-8544
- **三八地域県民局 地域農林水産部林業振興課**  
〒039-1101 八戸市大字尻内町字鴨田7  
TEL:0178-23-3595 FAX:0178-23-2801
- **西北地域県民局 地域農林水産部林業振興課**  
〒038-2753 西津軽郡鯉ヶ沢町本町209  
TEL:0173-72-6613 FAX:0173-72-6618
- **上北地域県民局 地域農林水産部林業振興課**  
〒034-0093 十和田市西十二番町20-12  
TEL:0176-24-3379 FAX:0176-22-9161
- **下北地域県民局 地域農林水産部林業振興課**  
〒034-0073 むつ市中央一丁目1-8  
TEL:0175-22-8581(内線243) FAX:0175-22-3212



県産品PR用イメージキャラクター 決め手くん

#### あおり産木造住宅コンテスト実行委員会

青森県木材利用推進協議会、(社)青森県建築士会、青森県森林組合連合会、(社)青森県建築士事務所協会、青森県木材協同組合、青森県森林整備事業協同組合、(社)青森県林業会議、青森県建築住宅課、青森県林政課(順不同)